


# 論 文 目 録

必ず 1 枚に収めてください

報告番号	甲第 号	氏 名	熊 本 花 子
主 論 文			
		冊 数	1 編 1 冊
著者名	※論文掲載どおりの順番で全員を記載すること。 ※筆頭著者が 2 名以上いる場合はその旨明記すること。		
熊本 花子			
学位論文題名			
ヒトCD4 陽性T細胞クローンの認識抗原ペプチドと免疫応答の多様性 (Diversity in antigen recognition by and immune response of the human CD4+ T cell clone)			
※タイトルが和文の場合は英訳を英文の場合は和訳を括弧書きで併記してください。 ※学位論文題目は「学位論文」、「学位論文抄録の表紙」と一字一句すべて統一させてください。			
参考論文			
① 関連論文	※雑誌名はフルネームまたは <i>index Medicus</i> に登録されている略記法 ( <i>J.Biol, Chem</i> 等の標準的な略式 標記) のどちらでも構いません。 ※印刷物の論文題目・著者名と一字一句(大・小文字、斜体の使い方等)すべて統一させてください。		冊 数 2 編 2 冊
①. Hanako Kumamoto, Taro Fukuoka and Jiro Miyazaki. Response of a human T cell clone to a large panel of altered peptide ligands carrying single residue substitutions in an antigenic peptide; characterization and frequencies of TCR agonism and TCR antagonism with or without partial activation. <i>J.Immunol.</i> 157: 3783-3790, 1996.			
2. Kumamoto, H., Kagoshima, S., and Nagasaki, S., Miyazaki, J., Modulation of calcium response by altered peptide ligands in a human T cell clone. <i>Eur.J.Immunol.</i> 28: 3929-3939, 1998.			
② 参考論文	※関連論文以外に発表論文がある場合には、 <u>5 編以内</u> を記載してください。		冊 数 2 編 2 冊
1. Fukuoka, T., Miyazaki, J., Kumamoto, H., Nagasaki, S., and Oita, S. HLA-DR binding peptides triggering autoimmunity and altered T cell responses. In "New research trends in immunological diseases" eds. Minato, N., Miyasaka, M and Yamamoto, K., pp.89-100. Academic Press, Tokyo, 1997.			
2. 熊本花子, 福岡太郎 「T細胞に抗原を認識させる主要組織適合抗原の構造と機能」, 蛋白質 核酸 酵素, 共立出版(東京), 45: 1205 -1218, 2000.			
以上のとおり相違ありません。			
令和〇年〇〇月〇〇日			
氏 名 熊大 花子			
(自署)			